

## AV MATERIAL

## ニュースクリップ &amp; 映像教材

## 文部科学省情報

## ■GIGAスクール特別講座「量子力学100年の謎と量子コンピュータへの挑戦！」ライブ配信

文部科学省では、分子科学研究所と連携し、標記講座をライブ配信する。

<日時>令和5年3月14日(火) 15:15~16:05  
<内容>「量子コンピュータ」について、実験やクイズを交えてわかりやすく解説。

<視聴方法>分子科学研究所からライブ配信する内容をYouTubeで視聴。事前申込不要。QRコードにアクセスのこと。  
なお、配信内容は、終了後アーカイブ配信も行う。



<問い合わせ先>文部科学省研究振興局基礎・基盤研究課量子研究推進室 TEL 03-5253-4111 (内線4115)

## AV情報

## ■農林水産省 小学生向学習コンテンツ公開

農林水産省は、子供たちが農業や農村について学べる学習マンガと動画を作成、公開した。

<内容>農業の大切な役割や魅力を楽しく学べる学習マンガ「ミーとトラの大冒険 日本の農業と伝統文化」および、動画「ニッポンの農業遺産」「のぞいてみよう！田んぼの世界」各10分を公開。小学校4年生以上の児童の家庭用学習教材として利用可能。農林水産省のホームページより、学習マンガは、ダウンロードもできる。

<問い合わせ先>農林水産省農村振興局農村政策

部鳥獣対策・農村環境課農村環境対策室農業遺産班 TEL 03-6744-0250

## ■「東京アニメアワードフェスティバル2023」

東京アニメアワードフェスティバル実行委員会、(一社)日本動画協会主催による標記国際アニメーション映画祭が開催される。

<日程>令和5年3月10日(金)~13日(月)  
<会場>としま区民センター(東京都豊島区東池袋1-20-10)他

<内容>「コンペティション部門」「アニメオブザイヤー部門」「アニメ功労部門」の顕彰、招待作品上映、シンポジウム、子ども向けワークショップ等。  
<問い合わせ先>東京アニメアワードフェスティバル実行委員会事務局 (一社)日本動画協会内  
TEL 03-5809-3375

## ■Japan IT Week 春

RXJapan(株)主催による、最新の幅広いIT分野を網羅した展示会が開催される。

<日時>令和5年4月5日(水)~7日(金) 10:00~18:00(最終日のみ17:00まで)  
<会場>東京ビッグサイト(東京都江東区有明3-11-1)

<内容>セミナー、セッション、ソフトウェア&アプリ開発」「情報セキュリティEXPO」「クラウド業務改革EXPO」「IoTソリューション」「メタバース活用EXPO」等、11の専門展示。要事前登録。  
<問い合わせ先>RXJapan(株)Japan IT Week 事務 TEL 03-3349-8504

■NHK放送博物館「テレビ放送開始70年企画展」開催中

## ■ ブックレビュー

## STEAM教育と俯瞰力



赤堀侃司 著  
 ジャムハウス 発行  
 2022年12月23日発行  
 単行本228ページ  
 1,870円

世界で広がるSTEAM教育は、我が国においても初等教育から高等教育まで広がりを見せている。しかし、伝統的に教科の枠組みが強い我が国において、教科を横断するSTEAM教育の課題は多い。本書は、長年教育工学分野の先頭で活躍されてきたICT CONNECT21会長の赤堀侃司氏が、STEAM教育の抱える課題や疑問に対し、氏の豊富な研究データに基づいて論説された書籍である。

本書が特徴的なのは、STEAM教育をテーマにしながら、半数以上を大学生の読解力の解説に当てていることである。本書上梓のきっかけでもある、「本当に、大学生の読解力は低いのか、そんな証拠はあるのか」とい

う氏の疑問について検証されるとともに、その読解力と教科の知識や理解とはどう関係するのか。さらに現実の問題解決と教科などの知識の関係はどうなっているのかなど、教科を横断し、問題解決に取り組むSTEAM教育を考える上で必要不可欠な内容が検討されている。結論は、既に書籍紹介でも示されているが、結論に至るエビデンスや論理展開は、ぜひ本書を手にとってご確認いただきたい。

本書のもう一つの柱が、タイトルの「俯瞰力」である。STEAM教育をコンピテンシーから捉え、問題の全体を俯瞰する「俯瞰力」を軸に、「教科力」「経験力」で構成する探究の枠組みを提起している。この枠組みは、STEAM教育の実践者のみならず、他の教育者、研究者、さらには問題解決力を必要とする多くの人たちの参考になるのではないだろうか。なお、本書は、学術的な知見に基づきながらも、具体的事例も踏まえ、実にわかりやすく解説されている点もお勧めである。

STEAM教育を一過性のブームに終わらせず、教育実践・教育研究として我が国に根付かせ、推進する道標として、本書を多くの方々にお勧めしたい。

(信州大学教育学部長 村松浩幸)

NHK放送博物館では、テレビ放送開始70年あたり、標記企画展を開催している。

<期間>令和5年4月16日(日)まで。開館時間は10:00~16:30(入館は、16:00まで)。月曜日休館。

<会場>NHK放送博物館3F企画展示室(東京都港区愛宕2-1-1)

<内容>1953年テレビ放送開始以来の番組動画、台本、収録機材、再現セット。入場無料。

<問い合わせ先>NHK放送博物館

TEL 03-5400-6900

■ (一財)三菱みらい育成財団「教育活動」助成先募集

(一財)三菱みらい育成財団では、未来を担う子

ども・若者の育成を目的に、教育機関への助成を行っており、その助成先を募集している。

<カテゴリー「プログラム」(助成対象者)>

1「心のエンジンを駆動させるプログラム」(高等学校等)、2「心のエンジンを駆動させるプログラム」(NPO・株式会社他教育事業者、大学等)、3「先端・異能発掘・育成プログラム」(大学、研究機関、NPO・株式会社他教育事業者等)、4「21世紀型教養教育プログラム」(大学、NPO・株式会社他教育事業者等)、5「主体的・協働的な学習を実践できる教員養成・指導者育成プログラム」(大学、研修機関、NPO・株式会社他教育事業者等)。助成期間は、1年間。金額、件数は、カテ

ゴリーによる。

<締切>令和5年4月5日(水) 17:00

<問い合わせ先>(一財)三菱みらい育成財団

MAIL info@mmfe.or.jp

### ■武田科学振興財団「2023年度中学校・高等学校理科教育振興助成」募集

(公財)武田科学振興財団では、中学校・高等学校の理科教育に貢献する研究または実践を課題として、その助成先を募集している。

<分野>中学校・高等学校理科教育

<応募資格>国内の中学校・高等学校(高等専門学校を除く)およびそれに準ずる機関の教員および職員。

<助成金額>1件30万円。70件程度。

<締切>令和5年4月6日(木) 24:00

<問い合わせ先>(公財)武田科学振興財団 研究助成事務局 TEL 06-6233-6103

## 研究会情報

### ■中央教育研究所「教育シンポジウム in 東京2023(第27回)」

(公財)中央教育研究所は、「資質・能力を育てる学習評価のあり方～学校現場の悩みと工夫を踏まえて～」をテーマに標記シンポジウムをオンデマンドによる動画配信で開催する。

<配信期間>令和5年3月13日(月) 12:00～31日(金) 20:00

<内容>基調講演、トークセッション等。参加費は、1,000円。要事前申込。申込締切は、令和5年3月26日(日) 20:00。

<問い合わせ先>(公財)中央教育研究所

TEL 03-5390-7488

## コンクール情報

### ■第34回丹波篠山映像大賞入賞作品決定

「生きる」をテーマとして、丹波篠山市、丹波篠山市教育委員会、丹波篠山映像祭実行委員会主催による標記の全国アマチュア映像コンテストにおいて映像大賞に「伝統を受け継ぐ」が決定した。他受賞作品は、丹波篠山映像祭ホームページにて視聴可能。

<問い合わせ先>丹波篠山映像祭実行委員会事務

局 TEL 079-590-1301

### ■「第18回プリントコミュニケーションひろば」作品募集

学校におけるよりよいコミュニケーション環境の醸成を目指した、(公財)理想教育財団による標記ひろばでは各種通信の作品を募集している。

<応募資格>小学校・中学校・高等学校、義務教育学校、中等教育学校および特別支援学校の教職員。

<応募作品の条件>教職員が編集・制作し、定期的に継続して発行された通信で、令和4年4月以降に制作発行されたもの。新聞・雑誌・コンクール等で未発表のもの。児童生徒、保護者、地域社会に実際に配布、またはホームページに掲載したり、PCやスマートフォン等に配信したものの。

<応募部門>①学級通信・学年通信の部、②学校だより・校長だよりの部、③その他の通信の部、④電子媒体を使った通信の部。

<賞>ひろば賞(35作品)、新人賞(3作品)。

<締切>令和5年3月31日(金) 当日消印有効。

<問い合わせ先>(公財)理想教育財団 第18回「プリントコミュニケーションひろば」作品募集係 TEL 03-3575-4313

### ■第3回情報活用授業コンクール

(公社)全国学校図書館協議会は、情報活用能力を身に付けることをねらいとした授業実践のすそ野を広げるため、標記コンクールにおいて、実践を募集している。

<応募資格>国公立小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、義務教育学校、中等教育学校に勤務する教職員(教員、司書教諭、学校司書等)。

<区分>小学校の部、中学校の部、高等学校の部、特別支援学校の部。

<対象実践>過去3年間以内の単元の授業実践。教科・領域は、単一・複数・総合的な学習の時間・教科横断的なもの。

<表彰>優秀賞、情報活用推進校等。

<募集期間>令和5年4月5日(水) 当日消印有効。

<問い合わせ先>(公社)全国学校図書館協議会 研究調査 TEL 03-3814-4317(代表)

## 学会情報

### ■デジタルアーカイブ学会「デジタルアーカイブ憲章 みんなで創る総括シンポジウム」

デジタルアーカイブ学会では、「デジタルアーカイブ憲章」の策定・公表に向けて、標記のシンポジウムを開催する。

<日時>令和5年3月14日(火) 19:00~21:00  
<会場>御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンタールームC(東京都千代田区神田駿河台4-6)

会場参加は先着順。定員(100名)になり次第締切。

<内容>会議趣旨と基調報告、「デジタルアーカイブ憲章案について」、ラウンドテーブル、参加者からの質問・意見等。シンポジウムの模様はインターネットでのライブ配信/アーカイブ配信を検討中。参加費無料。

<問い合わせ先>デジタルアーカイブ学会ホームページまで。

### ■日本教育メディア学会2022年度第2回研究会

日本教育メディア学会では、「メディア・リテラシー育成を目的としたメディア制作実践のデザインと学習者の評価/一般」をテーマとして標記研究会を開催する。

<日時>令和5年3月18日(土) 10:00~15:35  
<会場>広島経済大学 アカデミックコモンズ 明德館(広島市安佐南区祇園5-37-1)

<内容>「メディア・リテラシー育成を目的としたメディア制作実践のデザインと学習者の評価」をテーマとした発表や教育メディアに関する幅広い発表。

<問い合わせ先>明星大学教育学部 今野貴之研究室 日本教育メディア学会事務局

MAIL office@jaems.jp

### ■日本教育工学会「2023年春季全国大会」

日本教育工学会では、標記大会を開催する。

<日時>令和5年3月25日(土) 8:45~17:20、  
26日(日) 9:00~16:40

<会場>東京学芸大学(東京都小金井市貫井北町4-1-1)

<内容>シンポジウム、一般研究、セッション等。要事前申込。

<問い合わせ先>日本教育工学会 大会企画委員会  
MAIL s-taikai2023@jset.gr.jp

## 各地の情報

### ■第1回新潟国際アニメーション映画祭

新潟国際アニメーション映画祭実行委員会は、長編アニメーション映画祭として、標記映画祭を開催する。

<日程>令和5年3月17日(金)~22日(水)

<会場>新潟市民プラザ(新潟市中央区西堀通6-866)他

<内容>長編コンペティション、フォーラム、上映とゲストトークや監督トーク等。有料。

<問い合わせ先>新潟国際アニメーション映画祭事務局 TEL 0120-964-308

### ■大阪私学教育情報化研究会「2022年度春の研究発表大会」

大阪私学教育情報化研究会は、「新学習指導要領1年目、隣の学校何してる?」をテーマに標記大会をオンラインにて開催する。

<日時>令和5年3月18日(土) 14:00~17:30

<会場>大阪私学教育会館3階会議室(大阪市都島区網島町6-20)またはオンライン(リアル会場もオンライン参加)。

<対象>教員(情報・英語など)、ICT教育に興味・関心をもつ教育関係者。

<内容>全体発表、分科会、「高校デジタル教材」「ICT機器」デモ(オンライン)発表、企業展示等。要事前申込。参加費無料。

<問い合わせ先>大阪私学教育情報化研究会ホームページまで。

## 文部科学省選定作品

### ■1月選定 紙 紙しばい

「ハシビロガモのはしろう」紙12枚<幼稚園/小学校低学年/幼児・少年、教養>(株)童心社  
映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shougai/movie/main9\\_a1.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_a1.htm)

※本欄掲載のイベント開催等の最新情報は、主催者<問い合わせ先>に、ご確認ください。